

平成 25 年度堺市障害者施策推進協議会

第6回障害者長期計画策定「権利擁護」専門部会会議

「選挙・投票における環境の整備」について 議事概要(抜粋)

1.開催日

平成 26 年 1 月 9 日 (木曜)

2. 議事内容(要点記録)

- (委員) 選挙に関しても障害に配慮して、誰にでも分かりやすく情報提供するという合理的配慮を行うことが重要である。
- (委員) 法改正により成年被後見人の選挙権が回復されたので選挙に行けるようになったということだが、施設であれば、施設職員が同伴して行ってもよいのか。
- (事務局) 投票所に入ることができるのは、基本的に有権者のみであるが、介助が必要な人は投票管理者に申し出て許可が出れば、介助者は有権者と一緒に入ることができる。
- (委員) 投票は、「あくまでも本人の意思により、本人が行う」となっているが、絶対に本人が書かなくてはならないのか。介護者と一緒に投票所に行って介護者に本人の意思を伝えれば、介護者が書くこともできるのか。また、写真を見せて指さしてもらうなどの配慮などはあるか。
- (事務局) 介護者が書くことはできない。ただし、投票所の職員に、誰に投票するかという意味表明をしていただければ、職員が代筆することはできる。また意思表示の方法として、選挙公報に載っている選挙候補者を指さしていただくことも可能である。その際には、秘密投票の原則にのっとり、他の有権者に、誰に投票するかが分からないように 1 対 1 で行うなどの配慮を行う。
- (委員) 日常生活でいつも一緒にいる人には、自分の意思を伝えることはできても、投票所で初めて会う人には、伝えられない人もいる。
- (委員) 期日前投票所で、点字盤の投票用紙の挟み方が間違っていることが多い。点字盤のしくみを理解していただいたうえで用意してほしい。
- (委員) 投票当日の手話通訳の派遣は前もって予約するということだが、期日前投票でも予約できるのか。
- (事務局) 期日前投票での手話通訳の派遣は用意していない。
- (委員) 投票したい人を選び、投票することが可能であるにもかかわらず、投票所に行っていない障害者がいるのは、とてももったいないことであり、もっと分かりやすくして投票に行きやすくなるようにしていただきたいと思う。
- (委員) 「スロープ無し」の投票所が多いと感じる。学校は、階段を上って行き着くというところも多いため、建物自体のバリアフリーだけでなく、学校に

- 向かうまでのバリアフリーも調査して、徹底していただきたいと思う。
- (事務局) 基本的には選管が臨時に設置したスロープを含めて、すべての投票所での段差は解消しているが、再度調査を行う予定である。
- (委員) 難病患者や障害者手帳を持っていない人の中にも、投票に行けない人が多い。手帳の有無に関係なく、誰もが投票確保ができる制度を求めていきたいと思う。
- (委員) 郵便投票ができれば、同行援護の時間、投票所までの交通費や労力を削減することができるため、郵便による点字投票ができるように希望する。
- (事務局) 郵便等による不在者投票の適用対象者の範囲の拡大や郵便による点字投票などについては、指定都市選管連合会を通じて国に対して法改正要望を行っている。
- (委員) 自閉症や知的障害の人なども、配慮を行うことで投票ができたり、注意事項を確認できれば投票当日にボランティアを活用することで投票ができる可能性がある。当事者の意見を取り入れながら、障害種別などで様々な方策ができればよい。
- (委員) 聴覚障害者に立候補者の情報をどのように伝えるかをもっと考える必要があると思う。
- (委員) 施設入所者は施設で投票できる配慮がある一方で、在宅の人は自分でガイドヘルパーを手配して料金を支払わなければならないなど、配慮がないのはおかしいと思う。
- (委員) 投票所のA3サイズの貼り紙は分かりにくい。もっと分かりやすくなるよう、文章を再検討したほうがよいと思う。識字的能力が弱い人は、長い文章や回りくどい表現が苦手な人が多いため、矢印や絵記号などを使うのがよいと思う。
- (事務局) 今後、障害者等の意見を聞きながら、誰もが投票しやすい環境づくりを検討していきたい。
- (委員) 精神障害者は、多くの人の中で投票することは緊張するため、個室での対応ができればと思う。
- (委員) いくつかの自治体では、障害者の意見を聞きながら動き出している。選挙に関わるアルバイトの人に1日だけでも1時間だけでも研修を行えば、まったく対応が変わる。「障害とは何か」などでなくても、「このようなときには、無理に手を引っ張らない」、「このようなときには、このようなことは言わない」などの研修を行えば、啓発にもなる。それが無理なら、いくつかフロー図を作るなど様々な取り組みを打ち出していくことが重要だと思う。

以上